

# 年頭所感

山崎巖

茲に光輝ある皇紀二千六百年の佳辰に當り 聖壽の萬歳と皇運の隆昌とを慶祝し奉る。

支那事變も既に第四年目を迎ふることゝなつたのであるが、皇軍將兵はあらゆる艱苦を克服し支那大陸の全土に赫々たる武勳を立て頑強なる國民政府を奥地に追迫したのであつて、此間に於ける將兵諸士の勞苦に對しては茲に改めて感謝の至誠を捧ぐると共に武運長久を祈るものである。

膺懲の戦は今や一轉して興亞百年の建設の階段に入つたのであるが、廣大なる支那國土に於て民心を安定せしめ、物資資源を開發するが爲には、種々の方策があるが、就中土木施設の整備が其の基礎であつて、黄河を治むる者はよく支那を治むるのである。而して之が企劃と其の遂行を容易ならしむるが爲には、唯一に我國土木陣營の強力なる援助に俟つの外なきものと思料する。

曩に滿洲國の成立するや我土木界より多數の經驗あり學識を具ふるの諸士赴任せられて王道樂土の建設に多大の貢獻を爲しつゝあることは世の知悉する所であるが更らに一昨年治安未だ全からざるの秋既に北支を初めとし蒙疆地方へ俊秀の士が迎へられて日夜孜々營々として新天地の建設に努力して居られるのである。また昨年以來は大上海市の建設、北支新港の修築、滿鐵其の他經營事業の爲に多數の人材が渡支せられて拮据産業文化の建設に任せられて居られる此等諸士の辛勞に對して、衷心より感謝の情に堪へざる所である。

翻つて國內土木行政界を展望するに、日滿支の交通體制の確立と生産力の擴充、國內資源確保の立場から港灣を修築し、道路の改良を圖ると共に、銃後民心の安定振興の爲に治水事業を強調する等時局の要望に即應する政策は一層濃厚に要求せらるゝ實情にあつたのである。

また昨年は幸ひにも例年の如き水害の慘禍は免れたが、中國地方を中心とする旱害は實に未曾有の出來事であつて、之等罹災地方に對しては、土木的見地に於ても萬全の匡救策を講ずるの要が看取せられたのである。

敘上の見地に立脚して、内務省が十五年度に新機軸として施設を企圖したものの、大要を述べんに、河川關係に於て、菊池、庄及猪名の三河川を新に直轄河川とし、總額貳千六百餘萬圓を以て其の改修を

起工するの外、直轄砂防費に百拾萬圓を追加し、府縣砂防補助費に五千四百六拾萬圓を増加し、尙中小河川として新に十三河川に對し、四百四拾參萬餘圓を補助することゝし、また連年發生せる水害の實情に鑑みて、府縣に於て施行する災害防除施設助成費として、百萬圓が計上せられたのであつて、之等は既定事業の遂行と相俟つて治水政策の十全を期した次第である。

道路關係に於ては、新に東京大阪間第一期國道改良事業として、總額七百貳拾五萬圓を以つて起工するの外、二號國道山口縣德山市小郡町間、六號國道千葉縣松戸町茨城縣土浦町間、九號國道の群馬、新潟縣界に介在する三國峠、十五號國道奈良縣八木町浮孔村間の四路線を總額千百貳拾參萬圓を以て其の施工に着手することゝし、其の他國道及府縣道も略々前年度と同様に改良施工するものである。また既改良道路にして未鋪裝に屬する國道及府縣道を鋪裝するに要する經費として、新に四百萬圓が計上せられたのであつて、之等に依り、非常時局に於ける重要道路の機能を充分に發揮せしめんとするものである。

更にまた大陸地方に於ける交通體制の整備に順應して、國內幹線道路網を再検討せんが爲、重要道路整備調査費が新に加はつたことも、路政界に於ける朗かな報告であらう。

港灣關係に於ては、新規事業として重要港灣たる關門海峽改良の爲、總額四千五百餘萬圓が計上せ

られ、之に隨伴して商港及工業地帶造成の爲貳千餘萬圓が認められた外、貳百萬圓を以て八戸港の修築に着手し得べく、大阪港の修築補助費として總額九百六拾萬圓が認められ、土崎和歌山兩港に對する修築費の追加として參百四拾六萬圓、府縣に於て施行する地方港灣改良費補助として六港分百八拾九萬圓が夫々計上せられたのであつて、既定港灣修築事業の進捗と相俟つて愈々海運政策の促進に寄與することゝなつたのである。また對滿支内地港灣調査費が加へられたことも、港灣行政進展の根本策としてこれに期待すること甚だ多い次第である。

由來土木施設の良否は直ちに國家經濟は勿論國民生活に重大なる影響を與ふるものなることは言ふまでもないことである。従つて之を計畫するに當つては確實なる調査に依つて現狀を究め、明確なる推理に基いて將來を豫想し之等を基礎として適當なる思索をめぐらすことが極めて必要なことであると共に、時運の進展を洞察し調査設計に周到の注意を拂ふは勿論殊に時局下物資々材との調和を十二分に圖り苟も遺算なきを期せねばならぬのである。

年頭に當り些か所懐の一端を述べて土木國策の進展に邁進せんことを期する次第である。